

油漏れ注意!!!



給油中は
目を離さないで!



寒さを感じる季節になり、暖房器具を使う機会が増えてきました。この時期は毎年**油漏れ事故**が多発します。

「電話がかかってきたから出ないと」、「寒いから暖かいところで待っていよう」など、ホームタンクやポリタンクから灯油を小分けしている際にその場を離れたりしていませんか? 気づいたときには溢れてしまっていた...なんてことも。

油が漏れていると知らされたときには、周辺に大量の油が流出し、甚大な被害が発生している可能性があります。

周りのお宅の池や水田に油が流れ込んでしまうと...
田畑や河川、池の魚への影響、土壤汚染など

損害賠償が発生する場合がございます!!!

油漏れを発見したらすぐに

消防署へ連絡を!

岳北消防本部

【お問い合わせはこちら】

- 飯山消防署
- 野沢分署
- 栄分署
- ホームページ

TEL 62-0119 FAX 62-3347

TEL 85-4119 FAX 85-3050

TEL 87-1119 FAX 87-1120

<http://www.iiyama-catv.ne.jp/~gakuohoku/>

急な**病気**や**ケガ**等で
・救急車を呼ぶか
・病院へ行くか
迷ったときには



#7119へ



(相談無料)

※ダイヤル回線、IP 電話の場合は、「026-231-3021」へおかけください

長野県では、高齢者の救急搬送の増加や不要不急の救急車の出動等による救急医療機関や消防機関の負担軽減を図るため、救急車の要請や医療機関を受診すべきか迷った際に、看護師等の専門家に電話で相談することができる相談窓口(長野県救急安心センター#7119)を開設し、令和5年10月1日から運用を開始しています。

15歳未満の方の場合は

小児救急電話相談

#8000へ

(受付時間:毎日19時~翌8時まで)

曜日	8時~19時	19時~23時	23時~翌8時
平日	—	2回線	1回線
土曜・日曜・祝日	2回線		1回線

※受付時間は、医療機関が外来診療を行っていない時間帯です。

1回線につき看護師1名+オンコール対応できる医師がいます。

緊急・重症の場合は迷わず119番通報してください

❄️ これからの寒い季節 ❄️

ヒートショックにご注意を!

ヒートショックってなに?

ヒートショックとは、暖かい場所から寒い場所への移動時、急激な温度変化により、血圧が大きく上下することで起こる疾患のことを言います。意識障害、不整脈、脳梗塞、心筋梗塞などが発症し、最悪の場合死に至ることもあります。

これからの寒い時期は、入浴時にヒートショックが起きやすく、高齢者の方は特に注意が必要です。

入浴時のヒートショックの予防策は?

その1 浴室内を温める

・入浴前に、浴槽のお湯やシャワーの蒸気で浴室内を温めておきましょう

その2 入浴前に水分を摂る

・入浴前に水分を摂ることで、脱水症対策になります

その3 お風呂の温度を41℃以下に設定する

・42℃以上では入浴直後に血圧が大きく変動すると言われています

その4 声掛けをする

・入浴の際は、家族で声を掛け合いましょう

その5 ゆっくりと浴槽から出る

・急に立ち上がると血圧が急激に下がり、失神、転倒のリスクが高まります

